徳山工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)	授業科目	歴史
科目基礎情報					
科目番号	0009		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	土木建築工学科		対象学年	1	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	『詳説世界史B』 (山川出版社) / 『グローバルワイド最新世界史図表』 (第一学習社) / 『高校世界史基本用語問題集ツインズ・マスター』 (山川出版社)				
担当教員	柏倉 知秀				
到達目標					
国際理解を深め、地球的視点で考える能力を身に付けるために、次の目標を目指します。 (1) 世界の資源、産業の分布や動向の概要を説明できる。 (2) 民族、宗教、生活文化の多様性を理解し、異なる文化・社会が共存することの重要性について考察できる。 (3) 近代化を遂げた欧米諸国が、19世紀に至るまでに、日本を含む世界を一体化していく過程について、その概要を説明できる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
世界の資源、産業の分布や動向の概要を説明できる。	世界の資源、産業の分布や動向の概要を説明できる。	世界の資源、産業の分布や動向の概要を理解できる。	世界の資源、産業の分布や動向の概要を理解できない。		
民族、宗教、生活文化の多様性を理解し、異なる文化・社会が共存することの重要性について考察できる。	民族、宗教、生活文化の多様性を理解し、異なる文化・社会が共存することの重要性について考察できる。	民族、宗教、生活文化の多様性を理解し、異なる文化・社会が共存することの重要性について理解できる。	民族、宗教、生活文化の多様性を理解し、異なる文化・社会が共存することの重要性について理解できない。		
学科の到達目標項目との関係					
到達目標 A 2					
教育方法等					
概要	経済や情報の分野で進む国際化やグローバル化に対応できるように、また、世界市民の一員として国際社会における相互理解に必要とされる諸外国の歴史的背景について講義する。				
授業の進め方・方法	授業は教科書の内容を独自に再構成して進めていきます。そのため、授業中にノートをきちんと取ることが大切です。歴史の流れをノートにまとめて理解するようにしてください。重要語句についてはワークを利用して学習してください。				
注意点	成績評価式: 4回の試験の平均点 (80%) + 授業態度 (20%)				
授業の属性・履修上の区分					
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応	
☐ 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	オリエンテーション 世界の地理	学習方法と評価方法について理解する 世界の地理について理解する	
		2週	世界の資源と産業 先史の世界	世界の資源と産業の分布について理解する 先史の世界について理解する	
		3週	オリエンと地中海世界 1	古代オリエン世界について理解する	
		4週	オリエンと地中海世界 2	ギリシア世界について理解する	
		5週	オリエンと地中海世界 3	ローマ世界について理解する	
		6週	アジア・アメリカの古代文明 1	インドの古代文明と東南アジアの諸文明について理解する	
		7週	アジア・アメリカの古代文明 2	中国の古典文明について理解する	
		8週	中間試験 答案返却など	上記の内容から出題する 試験の解答と解説	
	2ndQ	9週	アジア・アメリカの古代文明 3	南北アメリカ文明について理解する	
		10週	内陸アジア世界・東アジア世界の形成	内陸アジア世界と東アジア世界の形成について理解する	
		11週	イスラーム世界の形成と発展	イスラーム世界について理解する	
		12週	ヨーロッパ世界の形成と発展 1	ヨーロッパ世界の成立について理解する	
		13週	ヨーロッパ世界の形成と発展 2	ヨーロッパ世界の変容について理解する	
		14週	内陸アジア世界・東アジア世界の展開	内陸アジア世界・東アジア世界の展開について理解する	
		15週	期末試験	9回~14回の内容から出題する	
		16週	答案返却など	試験の解答と解説	
後期	3rdQ	1週	アジア諸地域の繁栄 1	東アジア世界の動向について理解する	
		2週	アジア諸地域の繁栄 2	西アジア世界と南アジア世界の動向について理解する	
		3週	近世ヨーロッパ世界の形成 1	大航海時代について理解する	
		4週	近世ヨーロッパ世界の形成 2	ルネサンスについて理解する	
		5週	近世ヨーロッパ世界の形成 2	宗教改革について理解する	
		6週	近世ヨーロッパ世界の形成 3	ヨーロッパ主権国家体制の形成について理解する	
		7週	近代ヨーロッパ世界の展開 1	重商主義と啓蒙専制主義について理解する	
	8週	中間試験 答案返却など	後期1回~7回の内容から出題する 試験の解答と解説		
	4thQ	9週	近代ヨーロッパ世界の展開 2	科学革命について理解する	

	10週	近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立 1	産業革命について理解する
	11週	近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立 2	アメリカ独立革命について理解する
	12週	近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立 3	フランス革命について理解する
	13週	欧米における近代国民国家の発展 1	ウィーン体制について理解する
	14週	欧米における近代国民国家の発展 2	ヨーロッパの再編について理解する
	15週	期末試験	後期9回～14回の内容から出題する
	16週	答案返却など	試験の解答と解説

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	社会	地理歴史的分野	世界の資源、産業の分布や動向の概要を説明できる。	3
				民族、宗教、生活文化の多様性を理解し、異なる文化・社会が共存することの重要性について考察できる。	3

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	20	0	0	100
基礎的能力	80	0	0	20	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0